

農地法第3条第1項の規定による許可申請書

令和 年 月 日

千歳市農業委員会 会長 様

譲渡人 (貸主) 住 所 千歳市中央539番3
 職 業 無職
 氏 名 千歳 一郎
 生年月日 昭和20年2月28日

譲受人 (借主) 住 所 千歳市東雲町2丁目34番地
 職 業 農業
 氏 名 千歳 太郎
 生年月日 昭和50年4月30日

法人の場合は、主たる事務所の所在地、
 業務の内容、名称及び代表者の氏名

農地 (採草放牧地) について、所有権 (地上権、永小作権、賃権、使用貸借による権利、
 賃借権、経営委託による権利その他の使用及び収益を目的とする) の移転 (設定) の
 許可を受けたいので、農地法第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

記

1 許可を受けようとする土地の表示及びその状況

所在	地番	地目		面積 (m ²)	所有者の氏名又は名称 (現所有者が登記簿 と異なる場合には、 その氏名又は名称)	所有権以外の使用 収益権が設定 されている場合	
		登記簿	現況			権利者の氏 名又は名称	権利の 種類
東雲町	34番1	畑	畑	20,000	千歳 一郎	支笏電力(株)	地役権
以下余白							
					()		
					()		
計		田					
		畑		20,000			
		その他					
		農地計		20,000			
		採草 放牧地					

2 権利を移転~~（設定）~~しようとする理由

- (1) 譲渡人~~（貸主）~~ 離農するため
- (2) 譲受人~~（借主）~~ 経営規模拡大のため

3 権利を移転~~（設定）~~しようとする契約の内容

契約の種類	土地引渡し の時期	対価、賃料等の額 [10アール当たりの額]	資金調達の方法	その他
売買	許可日	7,400,000円 [370,000円/10a]	自己資金	

注 資金調達の方法が、農業経営基盤強化資金ほか制度資金の借入れによる場合は、その資金名及び借入予定額を記載すること。また、賃貸借契約の場合には、その他の欄に契約期間を記載すること。

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等（住居及び生計を一にする親族（療養、就学等により一時的に住居又は生活を異にしている親族を含む。）並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいう。以下同じ。）が、現に所有し、又は使用収益権を有する経営地の状況（農地法第3条第2項第1号）

		農地面積 (㎡)			採草放牧地 面積 (㎡)	
		田	畑	樹園地		
所有地	自作地	10,000.00		10,000.00		
	貸付地					
	所在	地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

		農地面積 (㎡)			採草放牧地 面積 (㎡)	
		田	畑	樹園地		
使用収益権を有する土地	借入地	5,000.00		5,000.00		
	貸付地					
	所在	地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

	農地面積計(㎡)	採草放牧地面積計 (㎡)	経営地面積合計 (㎡)
経営地合計	= + 15,000.00	= +	+ 15,000.00
備考			

注1 「自作地」欄及び「貸付地」欄には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載すること。

2 「非耕作地」欄には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「賃借人 が 年間耕作を放棄している。」、「～であることから条件不利地であり、年間休耕中であるが、草刈り・耕起等の農地としての管理を行っている。」等耕作又は養畜の事業に供することができない事情等を詳細に記載すること。

3 「備考」欄には、貸付地がある場合はその許可年月日及び現在貸し付けている理由を記載すること。

5 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の大農機具及び家畜の所有状況並びに農作業に従事する者の状況（農地法第3条第2項第1号関係）

(1) 作付（予定）作物及び作物別の作付面積

作付（予定）作物	畑							
	大豆	小麦	馬鈴薯					
権利取得後の面積（㎡）	10,000	10,000	15,000					
							合計	35,000.00

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	耕運機				
		確保しているもの	所有 リース	2	1		
導入予定のもの	所有 リース (資金繰りについて)						

(3) 農作業に従事する者の状況

ア 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況
 農作業歴 20年、農業技術修学歴 年、その他（ ）

イ 世帯員等その他常時雇用している労働力(人)

現在： 1人（農作業経験の状況： ）

増員予定： 人（農作業経験の状況： ）

ウ 臨時雇用労働力（年間延人数）

現在： 人（農作業経験の状況： ）

増員予定： 人（農作業経験の状況： ）

エ アの個人として権利を取得しようとする者、イの世帯員等その他常時雇用している労働者及びウの臨時雇用労働者の所在地、拠点となる場所等から権利を設定し、又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間

権利者・世帯員 平均距離： 1 km 時間： 10分

臨時雇用者 平均距離： km 時間： 分

注1 「大農機具」とはトラクター、耕運機、自走式の田植機、コンバイン等を、「家畜」とは農耕用に使役する牛、馬等をいう。

2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ（融資を受けられることが確実なものに限る。）等資金繰りについても記載すること。

9 周辺地域との関係（農地法第3条第2項第6号関係）

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を確認するため、次の事項のうち該当するものを で囲むこと。

- (1) 地域の水利調整への参加： 参加 不参加 該当なし
- (2) 農薬の使用状態： 農薬使用 減農薬 無農薬
- (3) 地域の共同防除活動への参加： 参加 不参加 該当なし
- (4) 遺伝子組換え作物の栽培予定： あり なし
- (5) 5の作付（予定）作物の栽培： 連作 一部連作 輪作
- (6) (5)で、連作又は一部連作に を付した場合には、当該農地及び周辺農地への土壌障害等の影響を回避する方法について記載すること。

[]

- (7) この権利移転に関して、周辺農家等との話し合いをした事項又は話し合いをする予定の事項について、その内容を記載すること。

[]